

委員名	第3回意見（政策3・4・6）
大下 茂	①前半のコメントと同様に『重点』としていることを冒頭に記載をお願いします。 ②後半部の目指す姿で気になった箇所は、以下の通りです。 ○基本事業3-2-2(p7)の「……を目指しています」 ○基本事業6-2-6(p29)の「……図られています」 ○基本事業6-3-1(p33)の「……図られています」 ③人材育成について(p29の6-2-2) かつての高度経済成長や安定成長期のように国や埼玉県の将来像が明確に示されることがない中で(どちらかというと紆余曲折あるいは迷走する中で)、自治体としては限られた人材が、企画力や様々なスキルアップの獲得が求められてくるものと想像されます。すべては「効果的な人材育成」の中に含められるものとは思いますが、せめて「人材育成とスキルアップ」と記載してはいかがでしょうか。積極的な助成事業の獲得のための企画力・構想力等の研修事業の実施、参加が成果として求められると思います。
堂本 泰章	・施策4-4において、大規模道路整備事業に向けて、文化財の保全対策の推進を主要課題としていただきたい。 ・施策6-3において、市の審議会等の傍聴者の少なさ、市の計画等に関するパブコメの少なさを課題としていただきたい。
森田 満理子	意見なし
吉野 道子	意見なし
黒川 範子	施策3-5生涯学習・スポーツ活動の推進、基本事業3-5-2スポーツ機会の充実、基本事業3-5-3芸術・文化事業の推進、施策4-4文化財の活用・保護、基本事業4-4-4伝統文化の継承 上記の項目に関して、基本計画に記載すべき内容ではありませんが、実施計画を立案する際に御配慮いただきたい事項があります。「部活動の地域移行・地域展開」に関してです。 R7.5.17「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめがなされ、12月にガイドラインが示されるとのことです。部活動の地域移行・地域展開のメリットとして、「①学校の枠を超えて、地域の方々との交流が生まれる。」、「②卒業後も活動を継続しやすい。さらに、指導者として戻ってくることも期待できる。」等、上記の施策を進めるための具体的取組として、部活動の地域移行・地域展開を盛り込んでいただきたいと思います。 部活動の地域移行・地域展開は、学校・教育委員会だけでできる改革ではありません。首長部局との連携・協働が必要です。
橋本 裕子	施策4-4 文化財の活用・保護 ○基本事業 4-4-2 目指す姿 ※誤字 貴重な文化財【の】適切に → 貴重な文化財【が】適切に ○施策の目指す姿（方向性） 貴重な文化財 魅力ある文化財……貴重な・魅力ある は不要ではないか。 ○施策を取り巻く環境変化と課題 ・1点目「遺跡やその他文化財は、北本の歴史や自然の魅力を……」について、ここは遺跡（埋蔵文化財）にかたよった表現に思えてなりません。そう思わせないためには「その他文化財」部分に何点か具体例を入れてはどうかと考えます。 →遺跡や古文書、石造物、保存樹木、郷土芸能などの文化財は、北本の歴史や自然の魅力を…【古文書、石造物、保存樹木、郷土芸能等、思いつくままに例示したものです】
小林 健二	意見なし
坂田 直人	意見なし

委員名	第3回意見（政策3・4・6）
竹松 紀尚	・施策4-2「地域産業の振興」 昨今の米問題だけでなく、食料生産については日本全国共通の課題です。歴史のある北本トマトは有名ですが、北本市はプラムやぶどうといったフルーツの生産量も多く、生産者や作付面積を増やすことができれば生産年齢人口や高齢者の活躍の場が広がります。農業体験は子供や高齢者とのつながりを増やし、未利用の耕作地を整地することにて町の美化や防犯対策の一助になります。農業は多額の経費や利益になりにくいなどの課題が多いですが、補助金の利用、金融機関の融資などを活用して北本の農業を広め、将来的にはふるさと納税の参加事業者が増えたらと考えます。
高松 隆士	意見なし
深谷 忍	・基本事業3-3-3「多様な交流・見守り活動の推進」の主な取組について 「家事援助サービスの充実、サロンの立ち上げ支援、社会福祉協議会の運営支援」を「社会福祉協議会の運営支援（家事援助サービスの充実、サロンの立ち上げ支援）」に変更。 理由：家事援助サービスは社協独自の事業であり、サロンの立ち上げ支援は市からの受託事業として社協が実施している事業である。並列に表記するのは適当ではない。 ・施策3-4「障がい者福祉の充実」の施策を取り巻く環境変化と課題について 最初の〇中「標榜する」をもっと平易な表現に変更。
秋葉 清	意見なし
熊木 庄吾	・施策3-3の基本事業3-3-3で、民生委員・児童委員は年々欠員が多くなっています。自治会長にまかせるのではなく、地区の社協・自治会長等の会議組織を充実させ、欠員のない制度を作る必要がある。
横山 信	意見なし
田上 克義	・基本事業3-2-3介護保険サービス提供基盤の整備促進 介護スタッフ等の入所者に対する虐待、横領等、人材の劣化が気になります。人材の不足、犯罪等により（一因として）倒産等が危惧されています。介護難民への受け皿は大丈夫でしょうか。 ・基本事業3-5-4スポーツ施設の適切な管理と利用促進 北本市総合公園内の野球場の利用価値と年度利用計画は実行されていますか。 ・基本事業4-1-2地域資源を活用したまちの魅力創出 観光資源も含みますが、近隣の上尾市・桶川市・鴻巣市＋東松山市を巻き込んだゾーンとしてのプロモーションづくりはありませんか。（県内・外もそうですが、観光案内業者等へのアプローチも含めてです） ・基本事業3-4-3障がい者の就労・社会参加支援 障がい者として区分・段階等内容の把握が難しいと思われます。具体的に取り組めるのでしょうか。
槇 拓治	・基本事業3-3-2の主な取組について 取組が複数挙げられていますが、项目的なレベルでの記載にとどまっていますので、もう少し具体的な施策の記載が必要でしょう。 ・全体を通して アンケートに係る会議の際、「若者はメリットがなければ動かない」という発言をさせていただきました。これは、私が担当する2つの大学の学生たちの意見を集約したものです。 「人口減少を踏まえた今後のまちづくり」を1つの軸に作成されたのが、今次の「総合振興計画」と理解しています。これを踏まえるなら、本市に在住している現役世代や若者に、今後どういうメリットを提供できるのかは、振興計画の評価に直接つながるものでしょう。意見ではなく要望ですが、次の審議会でどういうメリットの提供を振興計画に盛り込めたかを説明していただきたいと考えます。 今回の参議院選挙では、現役世代や若者のメリットに応える政策案（ex.消費減税、手取増など）が、選挙結果を左右する一因となったようですから、ぜひお願いいたします。